



2016
8月号 Vol.39

発行
NPO法人 福祉フォーラム・東北
朝日のあたる家
〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字松峰48-1
TEL:0192-47-4750 FAX:0192-47-4751
fukushitouhoku@gmail.com

朝日のあたる家は、「高齢者や子ども、障害のある人の生活を支えたい。」という思いから、「どなたでも気軽に立ち寄りお茶を飲んだり、お話をしたり、ミニコンサートを楽しんだり、ときには相談にのってもらえたり・・・」そんな、当たり前前の地域生活を地域のみなさんと一緒につくっていくための拠点として開設された「みんなのコミュニティーハウス(居場所)」です。

HP: <http://asahinoataruie.org/index.html> facebookページ: <https://www.facebook.com/asahinoataruie.takata>

お知らせ

Information

フルーツ・ヴァイオリン・ピアノによる
ミニ・コンサート

8月3日(水) 10:00~11:00 入場無料

フルーツ・ヴァイオリン・ピアノ用にアレンジした日本のうたの曲とともに歌っていただいたり、耳馴染みのあるクラシック音楽、ポピュラー音楽などでひと時を楽しんでいただけます。どなたでも参加できます。どうぞお気軽に!

タイコクラブの
みんなで打楽器演奏を楽しもう!

8月21日(日) 10:00~11:45 参加無料

ペルーの打楽器カホンを中心に、基本奏法からパターン練習、アンサンブルなどを行います。会場にて楽器のレンタルも行います。休日を音楽演奏で楽しんでみませんか!?

東北復興応援コンサート

8月27日(土) 15:00~16:00 入場無料

東京スカイツリーの下からやってきた音楽教室アスパイア。チェロとフルートとヴァイオリンの素敵な演奏が楽しめます。10分でわかるベートーヴェンの映像と音楽とお話もあります。6才から60代のメンバーと一緒に歌いましょう!!

一本松クラブ

8月30日(火) 9:30~11:30 参加無料

米崎地区の介護予防教室として、毎月一回開催しています。今月の内容は、笑いヨガ・脳活! NPO法人総合型りくぜんたかたの釜澤俊一氏を講師に迎えます。米崎地区の方は送迎バスがありますので、お問い合わせください。どうぞお気軽に!

イベント報告

Event Report

6/26日

講演会「認知症とともに ~いつまでも住み慣れた
まちで暮らすため~」

アルツハイマー型認知症の当事者である、丹野智文さん(おれんじドア代表)の講演と新田國夫さん(新田クリニック院長)との対談が行われました。当事者による貴重な体験談では、「一緒に」という「パートナー」意識が大切であると学びました。対談では、地域でよりよく暮らすためのヒントを頂きました。



7/5火

アップルカフェ

毎月第一火曜日に開催しているアップルカフェ(認知症カフェ)。毎回多くの方々にご参加下さっています。話に花が咲き、時間を忘れるほどです。



7/17日

タイコクラブの
みんなで打楽器演奏を楽しもう!

ペルーの打楽器カホンを使って、打楽器の基本を学び、アンサンブルを行いました。初心者から経験者まで、演奏を楽しみました。最後には、ギターやサクソとのセッションも行われ、盛り上がりました!



朝日のあたる家ではグラウンドゴルフが楽しめます!

朝日のあたる家の広場では、グラウンドゴルフの練習ができます。随時利用中です!ぜひお気軽にご利用下さい。(担当/熊谷)



今月の笑顔



吉田 みよ子さん(米崎町)

「朝日のあたる家に行くのが、本当に楽しみです。スタッフがやさしいので、毎日来ています。いつでも行けるところがあるのは、ありがたいことです。特に「みんなでごはん」はおいしい食事が食べられるので、皆さんも一緒にハマりませんか!」

認知症カフェ



開催のお知らせ

米崎町が「認知症でOK!」という地域になることが「アップルカフェ」の願いです。

「アップルカフェ(認知症カフェ)」は、住み慣れたまちで安心して暮らすために、認知症の人やその家族・知人、認知症のことが気になる地域の人、ケアの専門職の方などが気軽に集まり、お茶を飲みながら語り、ひと時を過ごす場所です。昨年の11月から、新たにリニューアルし、月1回の開催となりました。おいしいコーヒーや紅茶、お菓子を用意して、地域の皆さまのご参加をお待ちしています。どうぞお気軽にご参加下さい!

参加費: 100円 ●第21回 8月2日(火) 13:30~15:00

編集後記

夏祭りがさまざまな場所で催されています。屋台、浴衣、太鼓や笛の音色、花火などなど、五感を楽しませてくれます。高田の夏の風物詩、うごく七夕・けんか七夕は、嵩上げ工事のため場所を変えて開催されます。新しく造成された土地に移り住み、居住地区が変わってしまったこの先どうなるのかと心配しながらも、伝統を絶やさないようにと努力している姿には、続けていくことの大切さと大変さを感じられます。(長友)